



①松尾君と笑顔で握手する下村さん②受賞者に激励の言葉を述べる下村さん③受賞者を代表しお礼の言葉を述べる松尾君④深堀君に記念品を渡す下村さん⑤記念の盾を手にする深堀君⑥深堀君の受賞研究「ほくのあさがおのかんさつ」⑦下村夫妻(中央)と記念撮影する受賞者の皆さんなど⑧⑨九十九島水族館「海きらら」のクラゲ研究室を訪れた下村さん。九十九島水族館の名誉館長への就任も快諾していただきました

①②③勇壮な舞いを披露する「三ヶ町蛇踊り」④くんち当日、出陣式で円陣を組む踊り手の皆さん⑤「モッテコーイ」の声を掛ける見物人の皆さん⑥上京町の奉納踊り「上京町喧嘩独楽」⑦長尾、泉町など5町合同の奉納踊り「みなと佐世保音頭」⑧松浦町の奉納踊り「お祭りマンボ」⑨四ヶ町アーケードを練り歩く御神幸行列

1年)と、燃料電池を製作し実験した松尾翔一朗君(同小6年)の2人が選ばれたほか、9人が教育長賞を受賞しました。下村さんは表彰式で「成せば成る。どんなことでもあきらめずに一生懸命やり遂げることが大切。好奇心だけでなく、なぜそうなっているのかという探究心を持ってください」と、未来の科学者たちを激励。松尾君は受賞者を代表し「下村さんのような立派な科学者になることが夢です。夢に一歩近づいたような気がします。ありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

下村さんはこの日、西海国立公園九十九島水族館「海きらら」なども訪問。クラゲ研究室などを見学し「海きららは面白いし、勉強にもなる。たくさん人が来るのも分かります」と笑顔で話しました。

◎学校教育課 ☎24・11111

やり遂げる努力を

10月19日、本市は昨年ノーベル化学賞を受賞した米ボストン大学名誉教授の下村脩さんをお迎えし、「第1回下村脩ジュニア科学賞・SASEBO」の表彰式を市役所で開催しました。同賞は下村さんのように世界で活躍する人材を育てようと本市が本年度に創設したものです。市内の小・中学生を対象とした公募には、92点の応募があり、ジュニア科学賞には、アサガオの観察日記を書いた深堀光太郎君(潮見小

11月1日から3日まで、亀山八幡宮(八幡町)の大祭「佐世保くんち」が開催されました。

1日には、小雨が降る中、上京町、長尾・泉・元・上・園田町、松浦町の踊り町が八幡宮で奉納踊りを披露。午後には、三体的ご神体を乗せた御神幸行列が八幡宮からお旅所の松浦公園まで向かう「お下り」があり、アーケードや国道沿いなどを約1時間半かけて練り歩きました。

晴天に恵まれた3日には、御神幸行列が松浦公園から八幡宮に戻る「お上り」が行われ、松浦公園では勇壮な「三ヶ町蛇踊り」も披露されました。

本市での蛇踊りは昭和34年に「栄町蛇踊り」として始まり、以降6年に1度、佐世保くんちに登場していましたが、踊り手不足などのため平成8年から一時中断。同16年に三ヶ町商店街青年部の有志が中心となり、三ヶ町蛇踊りとして復活しました。

復活6年目となった今回の蛇踊り。佐世保を活気づけたいと夜遅くまで練習を重ねてきた踊り手たちの勇壮な演舞に、見物人などから「モッテコーイ」というアンコールの声が何度も掛けられました。

モッテコーイ!三ヶ町蛇踊り